

026 平安時代(全12回の第12回)

平安時代後期 政治史 平氏政権

白河 近衛 高倉 順徳
堀河 後白河 安徳 仲恭
鳥羽 二条 後鳥羽 後堀河
崇徳 六条 土御門

<平氏政権>

◇武士的性格

保元・_____の乱で後白河
を_____で支援。

西国一帯の武士を_____に
組織。武士団の棟梁。

◇貴族的性格

_____〔 _____ 〕

の造営←_____のために
建てた

従一位_____に就任。

平家一族も高位高官を独占。

『平家にあらずんば人に非ず』

外戚政策…_____天皇の

中宮に娘の_____を嫁がせ

_____天皇の_____

となった。

平清盛——_____

後白河——_____

◇経済的基盤

日本_____国の半分の_____

全国に_____箇所の_____

◇_____

港_____〔神戸市〕

を改修

宋から_____・陶磁器

日本から_____・_____・

刀剣、水銀、扇子を輸出。

→日本に_____が始まる

◇反平氏勢力の台頭

①1177年_____

藤原_____、僧_____が

平氏打倒計画→失敗

瓶子

〔へいし〕

清盛の怒りを温厚な長男の

_____が止める。

僧_____→_____

②1179_____、父に先立つ。

→清盛_____

③高倉天皇の即位に不満な

_____〔後白河の子〕と

_____の拳兵〔敗死〕

〔頼政は源氏だが、清盛に信頼

され、厚遇されていた〕

→失敗したが、以仁王の_____

は全国の源氏に伝えられた。

〔源氏にとって平氏は親の仇〕

以仁王の_____

源義仲
源頼朝

④_____で源頼朝 拳兵

信濃で_____ 拳兵

⑤平清盛が、大輪田泊の隣の

_____〔神戸市〕遷都強行

→貴族の反対で翌年京都に戻る